



2018“音楽都市こおりやま”市民音楽祭

郡山マンドリンクラブ

第17回定期演奏会

午後のひととき

～マンドリンとともに～

2018年11月25日(日)
開演 14:00

場所 星総合病院メグレズホール



後援：郡山市・郡山市教育委員会



演奏曲目

♦ 第1部 マンドリンオリジナル曲

- Open open [初演：委託作品]／岡部富士夫
組曲「杜の鼓動」より「櫻の風景」／丸本大悟
還俗修道士／G.フィリッパ／中野二郎
組曲「スペイン」／S.F. ジャングレコ

休憩10分間

♦ 第2部 アンサンブルステージ

- 〈マンドリン&ギターデュオ〉
ベニスの謝肉祭／C.ムニエル編
嘆きのセレナータ／E.トセリ
〈ギター四重奏〉
幻想曲 Op.7／F.ソル

- 〈マンドリンアンサンブル「セレーナ」〉
ギター五重奏曲第7番ホ短調より第一楽章／L.ボッケリーニ
〈マンドリン&ギターデュオ「ラ・コルダ」〉
カプリッチョ・ディ・コンチェルト第2番／V.Arienzo

休憩10分間

♦ 第3部 ポピュラー曲

- ピッチカート・ポルカ／Johann.Strauss II & Josef.Strauss
線路は続くよどこまでも／アメリカ民謡／ニウナオミ・春山秀城編
Forever Love／X JAPAN,Yoshiki
懐かしの70年代邦楽ヒットメドレー／武田洋之編



曲目解説

●組曲「杜の鼓動」より「櫻の風景」／丸本大悟

丸本大悟(1979年～)は日本生まれで今最も人気のある作曲家の1人である。本曲は4つの曲(「櫻の風景」「魂の還る場所」「街の灯」「桜の風景」)からなる組曲「杜の鼓動」の第1楽章で2003年の東北大学マンドリン部・名古屋大学ギターマンドリンクラブ合同演奏会にて初演された曲である。組曲であるもののそれぞれの楽章が独立して発表された経緯があるため単独での演奏も多い。「櫻の風景」は初演された場所、杜の都・仙台のケヤキ並木の風景を曲想としており、「杜=森」の1日の始まりと終わりが描かれ中间部では躍動する自然が描かれている。

●還俗修道士／G.フィリッパ

ジュゼッペ・フィリッパ(Giuseppe Filippa、1836年11月3日～1905年)はイタリア、セルビアーノの生まれとされる。国家警備隊音楽隊やペーザロ市吹奏楽団、イタリア陸軍第65歩兵連隊軍楽隊などの指揮者を歴任した。また、1883～1905年までペーザロのジョキアーノ・ロッシーニ音楽院でトランペット、コルネット、トロンボーンの教授を務めたが、1905年に同地で没した。

還俗とは僧侶になった者が戒律を堅持する僧侶であることを捨て、在俗者・俗人に戻ることをいう。

本曲は、厳しい修行に耐えられなかったのか、何か悪さをしたのか、還俗した後の自由で楽しく遊びまわるような様子がポルカ様式で表現されている。

●組曲「スペイン」／S.F.ジャングレコ

サルバトーレ・ファルボ・ジャングレコ(Salvatore Falbo Giangreco、1872年5月28日～1927年4月4日)はシチリアのアヴォラに生まれ、同処に逝いた作曲家。マンドリンの作品をより純音楽的な世界に高めようと尽力した功労者。

本曲は1921年に「イル・プレットロ」誌のコンソルソにて1等を獲得した作品で、ミラノ・マンドリン合奏団に捧げられ、作者の作品としては最も力のこもったもの。曲は4つの楽章から構成され、

1. Serenata e Castigiana(カスティーリャのセレナータ)
- 2-3. Jota e Canzone(ホタとカンツォーネ)
4. Bolero(ボレロ)

となっている(2、3楽章は続けて演奏される)。巧みなオーケストレーションは作者の真骨頂で、殊に現代では当たり前ではあるが従来軽視されがちであったマンドリンチェロに重要な役割を与え、たくましく構築感のある和声を形成している。



出 演 者

* Conductor *

武田洋之

* 1st Mandolin *

松岡 節 滝田俊也 須永多賀子 辻田哲宏 大関淳悟

* 2nd Mandolin *

横澤裕也 富樫智美 吉成 智 鈴木純子 原 康夫
本田真知子 高橋米子 深谷笑子

* Mandola Tenore *

上野さらちら 村上明子 長谷川穂美 植竹重之

* Mandoloncello *

深見彰子 熊田茂範 佐藤良子

* Guitar *

春山秀城 平 文雄 赤間絵美 長川千穂

* Contrabass *

上野 博

メンバーコーナー

郡山マンドリンクラブでは、
メンバーを随時募集しております。
右記までお気軽にお問い合わせください。

練習時間／毎週土曜日 午後4時～7時
練習場所／中央公民館
お問い合わせ／koriyama.mandolin@gmail.com
KMCホームページ／<http://www.idic.jp/kmc>